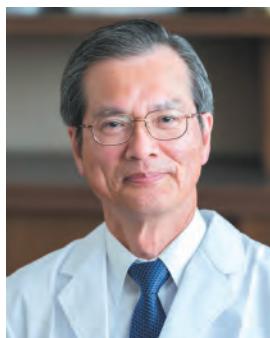


はなみずき

第26号

(平成28年1月号)



新年あけまして
おめでとうございます

院長 木内 利明

済生会千里病院は、平成15年4月に設立され、13年目の新年を迎えます。この間には、新病院棟が平成18年に完成、また、写真は、当院災害管理棟建設工事の様相ですが、平成25年9月に工事契約を結び、平成26年2月工事着工、平成28年1月末に完成予定です。これで、災害拠点病院としての機能が強化されます。患者さん、ご家族の方、周辺住民の方々に、大変ご迷惑をおかけしております。当院は、3次救急医療をはじめ、急性期病院として、地域医療機関との連携、特に、登録医の先生方のご支援により、安心して、安全な医療を提供することに、努めてまいりました。

この1年間、よい意味でのトピックスは、日本人科学者によるノーベル医学生理学賞および物理学賞の受賞、金星探査衛星の軌道再修正を試み、金星の周回軌道への誘導に成功したこと、また、スポーツでは、ラグビーワールドカップで、日本が初勝利したこと、日本への外国人旅行者の増加などです。悲しいことも多く、国際テロの多発、局部的紛争による多数の難民発生、国内では、建設データ改ざん、多額不正経理処理の発覚など、コンプライアンスの低下が危惧されます。

平成27年度は、医療の適正な提供体制を全国で統一したルールで構築するために、地域医療構想策定の取り組みが始まりました。社会保障費のうち、医療・介護費用は、国民の高齢化が進むほど、増加しますので、地域で、有効に治療を行うことが、求められます。また、医療安全の観点から、医療事故調査制度の運用が始まりました。国民に安全で、信頼される医療を行うために、医療中に予期せず亡くなられた方の原因を究明して、今後の再発予防に役立てることは重要です。

平成27年度から、当院の中期計画を策定し、「生き残りをかけた急性期病院改革」の名のもと、病院の構造改革を進めています。病院の理念である「心のこもった医療」を行うべく、職員一同、努めてまいりますので、今年もよろしく御願い申し上げます。



当院ご利用案内

診療受付時間

初めて当院をご利用される方(初診)は、かかりつけ医からの紹介状をご持参ください

☆月～金曜日 8:30～11:30 ※午後完全予約制(一部診療科を除く)

☆土曜日 8:30～11:30

☆休診日 日、祝、国民の休日、12/31～1/3(年末年始)

※千里救命救急センターは365日24時間対応(3次救急)

※日曜日、祝日、年末年始は、吹田市立休日急病診療所(豊津駅)をご利用ください

※夜間の救急に関するお問い合わせは、#7119(06-6582-7119)の「救急安心センターおおさか」まで

初診の方で紹介状をお持ちでない方には、別途保険外併用療養費として、3,240円いただきます。

歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、予約の上紹介状が必要となります。

詳しくは当院ホームページの外来診療のご案内をご覧ください。

医療相談窓口

患者さんやご家族の方々から下記のような様々なご相談をお受けしています。

誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- (1) 医療に関すること
- (2) 当院での受診に関すること
- (3) 病院に対するご意見、ご要望、苦情等に関すること
- (4) 個人情報保護に関すること
- (5) 医療安全に関すること

なお、医療相談窓口でお受けしたご相談内容でご希望があれば、日時を調整の上当院の第三者委員を交えて相談することができます。

臨床工学科の紹介

「臨床工学技士」をご存知でしょうか？

臨床工学科 富永 篤史



皆さんは臨床工学技士をご存知でしょうか。院内では「Clinical Engineer」や「Medical Engineer」を略して「CE(シーイー)さん」「ME(エムイー)さん」と呼ばれています。比較的新しい職種のため「臨床工学技士」になじみのない方が多いでしょう。高度化していく医療の中で、医療機器も進化しており、常に整備された機器を正しく操作することで臨床工学技士(以下CE)は呼吸、循環、代謝という生命維持に直接繋がる医療機器の操作・管理を行い医師の指示のもとチーム医療の一員として患者さんの治療に貢献しています。

院内での業務は、医療機器の中央管理、透析などの血液浄化業務、心臓カテーテル・ペースメーカ業務、人工

呼吸器管理、手術室業務、医師・看護師への教育など多岐にわたっています。そのいくつかを紹介します。

血液浄化とは、血液から不要な物質を除去する治療です。具体的には急性・慢性腎不全の方の血液透析、潰瘍性大腸炎の方の白血球除去療法(LCAP)、腹水が溜まった方の腹水濾過濃縮再静注法(CART)などを集中治療室(ICU)や病棟、外来で行うこともあります。

次にペースメーカは脈が遅いため意識消失をしてしまう方を補助するための装置です。ペースメーカの植え込み・



電池交換術、外来や病棟でのペースメーカチェックでは循環器内科医師と共に設定の変更や解析を行います。

最後に心臓カテーテル業務ですが、主に狭心症や心筋梗塞などの心臓にある冠動脈の造影検査や、その狭くなった血管を広げる治療(経皮的冠動脈形成術)をします。予定、

緊急併せ年間500件程度行っており、CEは外回りや血管内超音波検査の解析、直接介助を行います。

当院は救命救急センターでもあるため、緊急で透析や心臓カテーテルなどの治療が必要な場合があり、夜間・休日についてもCEは24時間対応できる体制をとっております。

取扱い機器の向こう側に常に患者さんがいるということ意識し、多職種と協力して日々業務に取り組んでいます。

えいようだより eiyo-dayori

～からだを温め免疫力アップ～

栄養科 管理栄養士 佐々木 真弓

体が冷えると免疫力が下がり、風邪をひきやすくなります。寒さが厳しく風邪が流行するこの時期は、体をポカポカ温めてくれる食材を上手く食事に取り入れて元気に冬を乗り切りましょう。

今回は体を温める食材や冬におすすめの料理の工夫をご紹介します。

体を温める食材

穀類

もち米、玄米

香 辛料

唐辛子、カレー粉、わさび、からし、こしょう

たんぱく質食品

鶏肉、かつお、さば、うなぎ、えび、チーズ

野菜

人参、大根、かぶ、南瓜、ごぼう、生姜、にら、ねぎ、にんにく



※トマトやきゅうり、レタス、なすなど、夏に旬をむかえる野菜は体を冷やします。

また白砂糖も体を冷やしてしまうため白砂糖の摂りすぎは控えましょう。

白砂糖の代わりに黒砂糖やはちみつを利用するのもおすすめです。

体を温める料理の工夫

サラダより温野菜

生野菜は体を冷やすため、冬は煮物・茹で野菜・蒸し野菜など加熱して食べるのがおすすめです。

蒸し野菜にすると、風邪予防や血行促進のために摂りたいビタミンなどの栄養素を効果的に摂取できます。

電子レンジを使うと手軽に蒸し料理が作れます。

あんかけにして冷めにくく

あんかけや葛とじなど、とろみを付けることで冷めにくくなり体を温めてくれます。

とろみ付けに葛粉を使うと体を芯から温めることができます

香辛料や香味野菜を活用

血行を促進する効果のある生姜やネギは冬にぴったりの食材です。

汁物やあんかけに生姜を加えると

風味もよく体も温まる1品となります。

唐辛子などの香辛料には発汗作用があり寒さで冷えた体を温めてくれます。



がん診療最前線

～がん診療拠点病院の取り組み～

当院では、患者さんご本人の意思を尊重しながらがんと共に生きるための集学的治療を地域の医療機関、かかりつけ医、ケアマネージャーや訪問看護といった多職種と連携しながら行っています。

外科主任部長 福崎孝幸

<当院外科の診療最前線>

当院は大阪府から認可をうけたがん診療拠点病院となっています。

今やがんは長くおつきあいする疾患の一つとなっています。がん患者をサポートする仕組みも、そして社会通念も大きく変わりつつあります。がんは手術、化学療法、放射線治療といった治療のみならず生活全体に影響を及ぼす疾患と捉え、相談体制も整えることが求められています。

当院の外科では手術症例が年間900件近くあります。地域の開業医の先生方から検査、手術等のご紹介があれば積極的に対応していきたいと考え、医師の体制も整えています。専門外来としては大腸・肛門、肝・胆・膵、胃・食道、乳腺の4外来を開設しており、各分野のエキスパートと言える医師が患者さんにより良い生活をしていただけるよう十分な説明のもと、治療を展開しています。千里ニュータウン地域において当院の外科をより活用していただき、がんの集学的治療の拠点として活動していきたいと考えています。

年間がんに関する手術は450件を超えています。胃がん、大腸がんはもとより肝がん、膵がんといった手術が難しいとされる症例にも対応しています。乳がんは手術だけでなく、化学療法を長期的に行いながら生存率を高める努力をしています。乳房再建術も始めています。手術後、放射線治療や化学療法が必要な場合は副作用などを十分に主治医や薬剤師、認定看護師などから説明し、適切な治療をしています。

<がんの告知と不安>

クオリティ・オブ・ライフ＝QOLとは、ひとりひとりの人生そのもののかけがえのなさ、大切さを尊重し、高めていく生き方です。ひたすら治療するだけの「がんと闘う」時代から、がんにかかったご本人の、人生の本質そのものを維持していけるようなサポートを得て、生活していくことが大切です。

がんの告知はショックなものです。初めは頭が真っ白になり、その現実には腹立たしくなります。そして不安に

なって怖くなってきます。落ち込んでしまうことは普通です。そこから抜け出すには、落ち込んだ気持ちを、患者さんがひとりで抱えないで、周りに、自分の心境を話すことが大切です。当院にはがん相談支援センターがあり、ソーシャルワーカーが生活の不安をお聞きしています。がんに関する認定看護師も4名おり、疼痛や緩和治療に関する相談、化学療法、乳がんに関する具体的な相談に乗っています。告知後の不安、治療中の不安に対応できるよう体制整備しています。

<地域におけるがん診療拠点病院として>

がんは長くおつきあいする疾患です。在宅医療とのおつきあいが必要な場合もあります。当院ではかかりつけの先生方、介護保険利用の場合はケアマネージャーや訪問看護師と連携しながら、地域で最期まで患者さんをサポートしていきたいと考えています。

またがんに関する情報コーナーの設置や、がんサロンなどを開催しています。これはがんを患者さんにより知っていただく機会と考えています。もっと広く皆様に活用していただけるようにしていきたいと思います。

がんの治療を考える上でまず大切なことはがんの状態、自分の病気や置かれている状況をしっかり理解することです。医師から十分な説明を受けていない、告知後でよく分からないときはエキスパートである医師をはじめとして当院のスタッフに相談してください。曖昧な不安が消えて、具体的に次に何をすべきかもう一度医師や看護師も含めて一緒に考えましょう。

がんの治療をしながら生活をするには、食事、睡眠時間、仕事のやりくり、治療その他の情報収集、さらには経済的な課題解決など、やることがたくさんあります。がんにかかった患者さんひとりでできることはありません。専門スタッフがチームとなり、サポートします。

当院は千里ニュータウンを中心とした地域の皆様のがん治療のサポートを行います。

どうぞ積極的に利用、相談していただきますようお願い致します。



外科医師写真

① 院内駐車場のお知らせ

院内駐車場が工事期間中閉鎖となりご迷惑をおかけしております。このたび、平成28年2月1日(予定)に工事が完了し、ご利用頂ける運びとなりました。尚、ご利用については、詳細が決まり次第、院内掲示または、病院ホームページでお知らせいたしますのでご確認いただきますようお願い申し上げます。

「がん相談支援センターを知っていますか？」

がん相談支援センター
ソーシャルワーカー 西脇 早苗

がんと診断されたとき、誰しもいろいろな不安を抱えると思います。告知では頭が真っ白になり「主治医の説明も看護師の言葉も覚えていない」という方も少なくありません。生活のことやお金のことを、どこに、どんなふうに相談したらいいのかわからないこともあるでしょう。

そのようなときの患者さんやそのご家族の相談窓口として、当院には「がん相談支援センター」があります。今回はがん相談支援センターがどのようなところなのかを知ってもらうために、がん相談についてQ&Aにしました。今後の相談の参考にしていただけたらと思います。

Q1. どんな相談を聞いてくれますか？

A1. 診断告知されたときから、治療中、療養生活まで、がんに関わるご相談を伺っています。「医療費が心配」「治療の副作用が辛い」「なんだか気持ちが落ち込む」「家族としてどう本人に関わったらよいか」「在宅医療・緩和ケアを知りたい」など、生活をしていくうえで出てくる不安や悩み、疑問について、一緒に問題を解決していきます。

Q2. どんな人が相談を聞いてくれますか？

A2. 当院では、まずソーシャルワーカーが相談をお伺いしています。相談の内容によっては、主治医や看護師、薬剤師、臨床心理士などのスタッフと対応していきます。

Q3. 相談したことを知られたくないのですが…

A3. 来られた方のプライバシーは守ります。他のスタッフとの連携が必要な場合は、相談者本人の了解を頂いたうえで対応します。

Q4. 何を相談していいかわからないのですが…

A4. そのようなときは不安に思っていることの中身を整理することから、一緒にはじめていきます。そのうえで、問題解決の糸口を探すお手伝いをさせていただきます。

Q5. いろいろ情報収集をしたいのですが…

A5. ソーシャルワーカーが直接お話しすることもできますが、がん相談支援センターの前に情報コーナーとしてがんに関連するパンフレットを置いています。ご自由にお持ち帰りください。

相談時間は平日10時～16時、土曜10時～12時です。
相談は無料です。

お気軽にがん相談支援センターをお尋ねください。

無料低額診療事業の相談について（ご案内）

当院は社会福祉法人の病院であり、社会福祉法に規定された経済的な事情により必要な医療が受けられない人々に對して適切な医療を受けることができるように支援することを目的とした無料低額診療事業を行っています。

「急な入院で支払いができない」「介護もしているので、費用負担が重い」「非課税世帯で収入が少ない」「障害者手帳を持っていて医療費助成制度の対象になっている」など医療費の負担ができないといった相談を具体的に解決していきます。また、さまざまな保険制度に関することや医療費の支払いに関する相談も受け付けています。相談は、産科・婦人科の奥にある福祉相談室にてソーシャルワーカーが承っています。

このほか「介護が必要になりそうだが、どうしたらいいかわからない」「がんで治療をしているが、今後のことについて情報提供してほしい」「離れて暮らしているので、一人暮らしの父親のことが心配だ」などの生活に関する相談も受け付けています。

■ 福祉相談室受付時間：平日10時～16時・土曜10時～12時（受付状況によりお待たせする場合がありますが、ご了承下さい。）

平成28年1月から午後の外来診療は完全予約制となります（乳腺外来、脳神経外科を除く）

● 平成28年1月から、外来診療の受付は午前のみとなります。（8:30～11:30）

午後（12:30～14:30）は、一部診療科を除き「完全予約制」となります。詳細は当院ホームページをご参照いただくか、お電話にてお問い合わせください。

● はじめて当院を受診される場合（初診）は、かかりつけ医の紹介状をご持参ください。

紹介状をお持ちでない場合、ご相談のうえ、近くの診療所をご紹介させていただく場合もあります。また、患者さんの状態により診察は受付順にならない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※初診の方で紹介状をご持参でない場合、選定療養費として3,240円をいただきます。

（平成28年4月からは5,400円に変更予定）

第12回 認定看護師の紹介 Introduction

感染管理 認定看護師



西根 昭吉
認定看護師

私は感染管理認定看護師として平成27年10月から活動を開始しました。済生会千里病院で感染管理認定看護師は2人目となります。「感染管理認定看護師って何をするの?」と思われる方がいると思います。感染管理認定看護師の役割は、患者さん

はもちろんのこと、ご家族や面会者、病院で働く職員といったあらゆる方々を感染源から守ることです。そして役割を遂行するために、他職種の方々とICT（Infection Control Team：感染対策を行う実働部隊）というチームを結成し、協働して感染管理を行います。現在当院のICTメンバーは、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師です。活動内容は、院内の環境ラウンド、感染対策状況の確認・評価、抗菌薬が適正に使用されているかなど組織横断的に行っています。

代表的な感染対策として「手指衛生」があります。「手指衛生」には、石けんと流水での手洗いと、擦式アルコール製剤を手指に塗り込む2種類の方法があります。ご家庭でも手洗いは行われていると思います。幼少の頃、両親から「外から帰ってきたら手を洗いましょう。」としつけを受けた方が多いのではないのでしょうか。これはとても理にかなっているといえます。手はいろいろなものに触れます。もしその手に、インフルエンザウイルスやノロウイルスがついていたらどうでしょうか？外から帰ってきてすぐに手を洗っていれば家具にはウイルスはつきません。しかし、手を洗わずに家具を触ってしまうと、ウイルスがついてしまいます。もしウイルスがついた手で食事をとり、体の中に入ってしまうと病気を起こしてしまう可能性があります。ウイルスは肉眼で見えることは出来ません。手についたウイルスを除去するために「手指衛生」という行動は必要となるのです。

病院でも「手指衛生」はとても大切な感染対策となります。当院では各現場の看護師からICTリンクナースを選出しています。ICTリンクナースと協力し、「手指衛生」に力を入れています。少しずつですが「手指衛生」の意識が高まってきていることを実感しております。

「手指衛生」を例にとりましたが、感染対策は多岐にわたります。病院という場所が患者さんやご家族にとって安心して治療が受けられ、職員が安心して医療を提供できる場所であるために、多職種と協働し、感染管理に邁進していきたいと思っています。



ひとくち メモ

認定看護師とは

認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野（現在21分野）において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者をいう。

認定看護師の役割

認定看護師は、看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する。

- ・実践：特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
- ・指導：特定の看護分野において、看護実践を通して看護者に対し指導を行う。
- ・相談：特定の看護分野において、看護者に対しコンサルテーションを行う。

認定看護師になるには

看護師の免許取得後、実務研修が通算5年以上。（うち3年以上は認定看護分野の実務研修）→6ヶ月以上、総時間615時間以上の認定看護師教育課程修了（教育機関により異なる）→認定審査（筆記試験）合格を経て認定看護師認定証交付・登録することができる。（更に5年ごとの更新がある。）

感染管理認定看護師について（一部抜粋）

医療関連感染サーベイランスの実践

各施設の評価と感染予防・管理システムの構築

平成27年12月現在の登録者数は、大阪府で150名

（参考資料：日本看護協会のホームページ）

■ 医療の提供の結果に関する事項（厚生労働省「医療広告ガイドライン」に準拠）

項 目	単位	H26年 10月	11月	12月	H27年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新 入 院 患 者 数	人	814	743	855	783	690	735	844	776	831	897	836	807	809
退 院 患 者 数	人	795	746	899	731	672	788	810	808	809	899	841	796	809
入 院 延 べ 患 者 数	人	9,156	9,192	9,482	9,549	9,030	9,178	9,245	8,997	8,594	9,707	9,441	8,660	9,424
1 日 平 均 在 院 患 者 数	人	295.4	306.4	305.9	308.0	322.5	296.1	308.0	290.2	286.2	313.1	304.6	288.5	304.0
平 均 在 院 日 数	日	11.3	12.1	10.5	12.8	13.2	12.0	10.9	11.1	10.0	10.6	11.1	10.3	11.1
手 術 件 数	件	324	284	319	258	240	297	297	274	277	314	285	272	281
1 日 平 均 外 来 受 診 患 者 数	人	538.6	530.3	557.4	541.7	532.3	533.2	522.2	521.1	529.5	525.1	505.2	545.9	529.1

※病床数343床、そのうち救命救急センター43床

行事予定

済生会千里病院

平成28年

1月～3月

※変更になる場合があります。
予めご了承下さい。



■ 糖尿病教室

【日時・演題】 1月4日(月) 「糖尿病と動脈硬化～頸動脈エコー検査の紹介～」
「糖尿病と心臓病～日常生活について～」

2月1日(月) 「糖尿病と心血管病について」

3月7日(月) 「糖尿病のまとめ」

※いずれも13:00～14:00

【開催場所】 災害管理棟1階 会議室1

【お問い合わせ】 栄養科 06-6871-0121内線208

■ 心臓病教室

【日時】 毎週水曜日 11:30～

【開催場所】 病院4階 心臓リハビリテーション室

【お問い合わせ】 心臓リハビリテーション室 06-6871-0121 内線680

■ 乳腺疾患勉強会

【日時・演題】 2月13日(土) 14:00～15:30

「内分泌療法と副作用」「化学療法・ホルモン療法～自分らしく生活するためには～」

【開催場所】 災害管理棟1階 会議室1

【お問い合わせ】 医療秘書室:吉村 06-6871-0121

■ 母親教室(※要予約)

助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について分かりやすく説明しております。
ご家族の参加もお待ちしております。

【日時】 毎月2回(第1木曜日・第3土曜日)

【開催場所】 病院3階デイルーム

【お問合せ先】 産婦人科外来 06-6871-0121

セカンド・オピニオンについて

他院で治療を受けている方が、当院の医師に意見を聞きたいというご希望に応える為に、セカンド・オピニオン外来を行っております。

【お問合せ】

1階総合受付カウンター (医事課)

患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙となっておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」にてお願いします。なお職員が使用しております携帯電話(赤色ストラップ付)は、一般の携帯電話とは異なるものです。

卒後臨床研修病院について

当院は臨床研修医に対する教育病院(臨床研修病院)です。
指導医の指導の下、日々研鑽を積みながら患者さんの診療に当たっております。
臨床研修医に対し、お気付きの点があれば、何なりとご意見をお寄せ下さい。

済生会千里病院の理念

「心のこもった医療」

基本方針

私たち、済生会済生会千里病院の職員は、

- 1.窮境にある人々の医療を積極的に支援します。
- 2.安全で良質な医療を心をこめて提供します。
- 3.医療の透明性とアカウンタビリティ(説明責任)に忠実である病院を実現します。
- 4.地域の中核病院として、また救急医療を含む急性期医療の実践により地域医療に貢献できる病院を実現します。
- 5.常に研鑽を積み、最高、最適の医療を追求します。

職員の信条

私たち職員は、患者さんのために、地域のために、心をこめて最高最適の医療を提供します。

個人情報保護方針について

個人情報保護法の趣旨を尊重し、患者さんの個人情報を厳重に管理し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護規程」「個人情報保護計画」を定めております。

患者さんの権利と責務

(患者さんー医療者のパートナーシップの強化)

- 1.どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供します。
- 2.あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説明をするよう努めています。もし、わからないところがあれば質問してください。
- 3.あなたが、気になること、疑問に思うこと、希望することなど、遠慮なくご相談下さい。
- 4.他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院を希望される場合は、おっしゃってください。
- 5.治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説明と情報提供を行います。
- 6.診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、病院内での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないように努めます。
- 7.良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただくようお願いします。
- 8.すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの診療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
- 9.お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。



地域医療支援病院 大阪府がん診療拠点病院

社会福祉法人

恩賜財団

大阪府済生会千里病院

(編集・発行) 広報ホームページ委員会・経営戦略課

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121(代)

ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>

■ 本紙についてのご意見・ご感想などございましたら、下記までお寄せ下さい。
E-mail: hanamizuki@senri.saiseikai.or.jp (右のQRコードからもアクセスできます)

